

EMC CLARiX CX4: ミッドレンジ・ストレージで 最高の電力効率性

Intel Xeon プロセッサを備えた EMC® CLARiX® CX4 シリーズ・ストレージ・システムは、最高の電力削減オプションを提供しながら、最も要求の厳しいアプリケーションを効率的に処理するように設計されています。階層型ストレージ設計、効率的な容量使用率、新しい仮想プロビジョニングなどの機能を備えた CLARiX CX4 は、組織がストレージ環境を最適化して消費電力を削減し、総電力コストを制御し続けるために役立ちます。

EMC CLARiX CX4 が最高の電力効率性を提供できる理由

CLARiX 省電力 SATA ドライブ

容量集約型のストリーミング・アプリケーションでは、新しい省電力 SATA ドライブが最小限のコストで最高の密度を実現し、テラバイトあたりの消費電力を、73 GB の 15K RPM ファイバ・チャンネル・ドライブに比べて 96%、従来の 1 TB SATA ドライブに比べて 32% 削減することができます。

CLARiX 適応型冷却

CLARiX CX4 シリーズ・ストレージ・プロセッサの設計は、システム・パラメータを継続的に監視するインテリジェントなセンサー・テクノロジーに基づいています。CX4 システムの適応型冷却機能は、ストレージ・プロセッサのシャーシ内の空気の流れや気温をインテリジェントに監視し、システム・アクティビティに基づいて風量やファンの速度を調整することで、変化する環境のニーズに絶えず適応しています。

CLARiX フラッシュ・ドライブ・テクノロジー

CLARiX フラッシュ・ドライブ・テクノロジーにより、少ない使用電力、最小の遅延、高いスループットが実現され、従来のディスク・テクノロジーにおけるパフォーマンスの問題を解決します。この階層「0」のドライブ・テクノロジーは、従来の 15K RPM ファイバ・チャンネル・ドライブの 30 倍の IOPS を提供するうえ、I/O 集約型のアプリケーションでは消費電力を大幅に削減し、トランザクションあたりの消費電力が 98% 抑えられています。

CLARiX 仮想プロビジョニング

CLARiX 仮想プロビジョニングは、使用率を上げ、容量追加を先延ばしにすることで電力効率を向上させます。仮想プロビジョニングは、監視、アラート、レポート生成を通じたジャスト・イン・タイムの容量割り当てによってストレージ管理を合理化し、より効率的なキャパシティ・プランニングを可能にします。この結果、追加のストレージをプロビジョニングするために必要な時間と労力が削減され、短期的に必要なとされないストレージをプロビジョニングする必要がなくなります。

CLARiX ディスク・ドライブ・スピン・ダウン

EMC は、ドライブ・スピン・ダウンを可能にする機能を CLARiX CX4 プラットフォームに統合しています。CLARiX CX4 のドライブ・スピン・ダウン機能を使用すると、お客様は RAID グループ・レベルでポリシーを設定し、使用頻度の低いドライブをスリープ・モードに切り替えることができます。この機能を使用すると、データへのアクセスが必要になる頻度が低いアプリケーションに対し、電力効率に関する大きなメリットがもたらされます。





2009年8月版

EMC ジャパン株式会社
東京都渋谷区代々木 2-1-1
新宿メインタワー
〒151-0053
<http://japan.emc.com>

お問い合わせは
<http://japan.emc.com/contact/>

●お問い合わせは

EMC²、EMC、CLARIX、およびwhere information livesは、EMC Corporationの登録商標、または商標です。これらの商標は、日本または諸外国で商標登録等により、適用法令で守られている場合があります。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。